



# グリセリン浣腸について

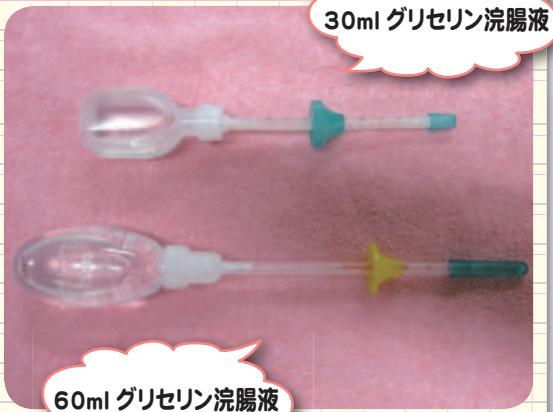
お子様がなかなか便を出せなかったり、お腹が張ってしまったりと苦しそうな場合に、グリセリン浣腸をして腸壁を刺激し腸蠕動を起こさせ、排便、排ガスを促す助けをしてあげましょう。

## 1 必要物品を用意しましょう

- 病院で処方されたグリセリン浣腸液 (30 mlと 60 mlがある。)
- 潤滑剤 (食用油でも良い)
- ティッシュペーパー等肛門を押さえられる紙

お子様が乳児の場合は…

- 注射器
  - ネラトンカテーテル  
サイズは  フレンチ Frの物を用意しましょう。
  - おむつ
  - おしりふき
- ※潤滑剤、ネラトンカテーテル、注射器は売店で売っています。



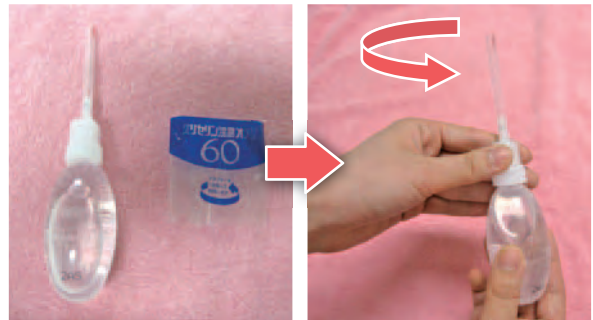
## 2 浣腸の準備をしましょう

- ① グリセリン浣腸液を湯煎して人肌程度に温めます。
- ② チューブの部分をはさみで切ります。



※切った先は「ネラトン」の代わりに使用できます。

- ③ アダプターを回転して開封します。



- ④ 注射器で液を吸います。



⑤注射器にチューブをつけます。



○お子様に必要な量は  ml です。

30mlと60mlの場合はそのまま使用します。

※注射器とネラトンを使用する場合は、指示量より  ml 位多く吸い、注射器とネラトンを接続後、液を満たし空気を抜きます。

### 3 お子様に浣腸をしましょう

- お子様の理解力に合わせた説明をします。
- お子様を乳児の場合は上向き、幼児、学童は左下にして寝かせます。(下の図参照)



乳児

幼児・学童



- 施行者は手をきれいに洗いましょう。
- ネラトンカテーテルの先に潤滑剤を付けます。
- ネラトンカテーテルをゆっくりと肛門から挿入(抵抗なく入るところまで)し、液を入れます。

- ネラトンカテーテルを丁寧に抜き取り、ティッシュペーパー等で肛門を押さえます。
- 乳児の場合は肛門をしばらく押さえ、液が出てこないのを確認して、オムツをします。幼児・学童の場合は約3分間我慢させてから排便を促します。
- 排便後はお尻をきれいにして、お子様を誉めてあげましょう。

### チェック!

浣腸をした後のお子様の状態はどうでしょうか?

- ❗ 便は出ましたか?
- ❗ 量はいっぱい出ましたか?
- ❗ 便の固さはどうでしたか?
- ❗ 匂いはいつもと変わりませんか?
- ❗ 血液や粘液は混じていませんでしたか?
- ❗ お腹はすっきりしましたか?
- ❗ 顔色、機嫌は変わりないですか?

### 4 使用した物品をかたづけましょう

- 使用したネラトンカテーテル、注射器はきれいに洗って乾燥させましょう。
- 施行者の手洗いも十分に行ってください。
- 清潔に扱って残っている浣腸液は、また使えるのでとっておきましょう。
- 注射器など捨てる場合は、一般の家庭ゴミとして出せない場合があります。廃棄方法については、かかりつけの医療機関にご相談ください。



何か困ったことがあった場合は、かかりつけの病院もしくは当院外来へ相談をして下さい。